

第25回宇宙安全保障部会 議事要旨

1. 日時

平成29年11月13日（月） 10:00～11:30

2. 場所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

中須賀部会長、片岡部会長代理、折木委員、久保委員、白坂委員、山川委員

(2) 事務局

宇宙開発戦略推進事務局 高田事務局長、佐伯審議官、山口参事官、行松参事官、高倉参事官、佐藤参事官、滝澤参事官、津井企画官

(3) 関係省庁等

内閣官房 国家安全保障局 伊藤審議官

総務省 国際戦略局 宇宙通信政策課 翁長課長

外務省 総合外交政策局 宇宙室 泰松室長

防衛省 防衛政策局 戦略企画課 五味課長

国立研究開発法人 情報通信研究機構 電磁波研究所 宇宙環境研究室 石井室長

三菱重工株式会社 防衛・宇宙セグメント 渥美宇宙事業部長、江口統合防衛推進室長、川戸主席技師

4. 議事要旨

(1) 宇宙基本計画工程表の改訂について

資料1に基づき、事務局より説明を行った。委員から以下の意見があった。

(以下、○意見等)

- 工程表6「即応型の小型衛星等」、工程表20の「即応型の小型衛星等の打上げシステム」について、ニーズ等の検討の際、システムや情報取得の頻度等、全体の設計やデータ取得後の使用要領を考えていくことが重要である。
- 工程表23「早期警戒機能等」について、早期警戒に必要な機能の検討のために必要な情報を集めることが重要である。
- 工程表24「宇宙システム全体の機能保証強化」について、机上演習検討の際には機能保証強化施策の準備として、産業育成の視点も含めて検討することが必要である。

(2) 太陽フレア、宇宙天気予報について

資料2に基づき、情報通信研究機構より説明があった。委員等から以下の意見があった。

(以下、○意見等、●情報通信研究機構の回答)

- 我が国として、国際民間航空機関（ICAO）宇宙天気センター選出に關与する利点は何か。

- 研究出口を明らかにしてフィードバックを行い、研究の高度化を実現できる点である。
- 太陽フレアに関する注意喚起のための対策やマニュアルの整備状況はどのようになっているのか。
- 衛星事業者や電力会社等の各事業者が各々対策について整備しており、NICTは各事業者をサポートをしている。
- 太陽フレアへの対策は宇宙システムの機能保証強化の検討においても重要であり、今後参考にさせて頂きたい。

(3) 宇宙安全保障関連の衛星技術の動向について

スライドをもって三菱重工株式会社より説明があった。委員から以下の意見があった。
(以下、○意見等、●三菱重工の回答)

- AIによるSARデータの識別率について、解析元のデータを画像化したものを識別したのか。
- そのとおり。ディープラーニングは画像を解析することがトレンドであるが、将来的には元データを活用するアプローチがあってもよいと考えている。
- 衛星を受注してから打上げではなく、民間が打ち上げた衛星の画像情報を購入するという安全保障のモデルは成立するのか。
- 米国では民間衛星情報の購入を促進する仕組みにより、政府機関がアンカーテナンシーを行っている。
- 小型SAR衛星、SAR画像のディープラーニングの開発の分野での競争を踏まえると速度が重要であり、ここ1、2年が勝負である。

以上